

ふるさとの美しい景観を地域の力で守り育てていく仕組みづくりを推進するため、平成23年度～令和4年度に「福井ふるさと百景活動団体」を認定しました。

平成23年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
桜守り（まもり）隊実行委員会	あわら市北潟湖周辺	15人	福井県最北端の北潟湖は、湖に架かる真っ赤な「アイリスブリッジ」、20万株の花菖蒲が咲き乱れる湖畔の花菖蒲園など多種多様な風景が見られます。 北潟湖畔のサイクリングロード沿いには、300本以上もの八重桜が植樹されており、訪れる人々に安らぎを与えています。これらの桜は、9年前からオーナー制を取り入れて植樹され、同委員会は、これらの桜並木の維持管理を行うとともに、お花見会などの各種イベントを開催しています。 桜並木の維持管理を引き続き実施するとともに、オーナー制による新たな桜の植樹などにより、桜豊かな景観づくりを進めます。
吉崎御山保存会	あわら市吉崎地区	92世帯（吉崎区）	吉崎は、本願寺第八世の蓮如が浄土真宗の北陸における拠点とした土地であり、御坊跡は1975年に国史跡に指定され、現在、公園として整備されています。同保存会は、吉崎御山の史跡保存と清掃活動を行っています。 吉崎御坊跡からは天然記念物「鹿島の森」や日本海が見られますが、雑草や樹木が生い茂っているため、伐木・除草などによる眺望の確保を計画しています。 また、吉崎御坊に向かうために蓮如上人が通った参道（馬場大路）も伐木・除草を行い、参道を復活していく予定です。
吉江藩 近松の里ボランティアグループ	鯖江市吉江地区	20名	吉江町境界は、江戸時代に福井藩の支藩である吉江藩の城下町でした。敵を通り抜けるべく七つの鉤型に曲がった「吉江七曲り」と呼ばれる道路割もその特徴です。また、浄瑠璃・歌舞伎作者 近松門左衛門が幼少期をこの地で過ごしたことでも有名です。 同グループは、吉江藩藩主松平昌親が徳川家の出身であったことから、徳川家の家紋である三つ葉葵の原形になった二葉葵を栽培し、京都上賀茂神社に行われる「葵祭」に奉納しています。 また、二葉葵を植えたプランターを県産材で製作し、吉江藩ゆかりのスポットに配置するなど、二葉葵を活かした景観づくりを進めていきます。
神楽町（かぐらちょう）1丁目商店街景観形成協議会	敦賀市神楽1丁目周辺	50名	敦賀市の神楽町1丁目商店街は、北陸道総鎮守・越前国一宮（えちぜんのかくにいちのみや）とされる氣比神宮の大鳥居（日本三大鳥居の1つ）の正面に位置しています。 同協議会では、「大鳥居や背後の山並みを美しく見せるまちなみづくり」の方針の下、木製行灯を製作し、氣比神宮大鳥居前の大通りに設置することにより、大鳥居や背後の山々、行灯による光の軸が一体となった幻想的な景観づくりを行います。
若狭熊川宿まちづくり特別委員会	若狭町熊川	42名	小浜市から京都の出町柳を結ぶ「鯖街道」の道中にある「熊川宿」は、交通と軍事において重要な場所であり、宿場町として発展してきました。現在、昔の町屋が約1.1kmの街道の両側に建ち並ぶなど、往時の面影を残した町並みが見られます。平成8年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。 同委員会では、「熊川いっぷく時代村」などの町並みを活かしたイベントやまちづくりフォーラムなど実施してきました。今後、陶器の灯り通りの設置による夜間景観づくりや、かつて夏の風物詩であった打ち水を再現するため、柄杓（ひしゃく）の製作などを行っています。
たがらす我袖（わがそで）倶楽部	小浜市田鳥区	116世帯（田鳥区）	田鳥地区は、小浜市街地から北東に約20km離れた若狭湾の入り江に面したのどかな漁村集落です。急峻な山々、急傾斜地に開かれた棚田、沿岸の集落、漁港といった景観要素がバランスよく調和し、「ふるさとの原風景」を形成しています。 同倶楽部では、集落に広がる美しい棚田の風景を次世代へと守り伝えていくため、棚田を題材としたフォトコンテストやパネル展を開催するなど、田鳥の棚田のPRを行っています。

平成24年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
勝山市下後区	勝山市下後区	23戸（下後区）	<p>下後区では、約350年続く左義長まつりにおいて櫓を建てて祭りを盛り上げているほか、貴重な現存清水「大清水」に灯籠を浮かべ清水を彩る「大清水まつり」や、屋外映画館「星空シアター」などを開催し、地域の賑わい創出に取り組んでいます。</p> <p>今後、かつて花街として栄えた河原通りの歴史的雰囲気を一層引き立たせるため、行灯を製作し、通りに設置するなど、幻想的な夜景づくりを行っていきます</p>
一般社団法人 朝倉氏遺跡保存協会	福井市城戸ノ内町	49名	<p>当協会では、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の管理清掃等の委託を受け、史跡内の環境保全に取り組んでいます。また、一乗小学校の5・6年生が史跡内の魅力を語る「子どもガイド」の育成を行うなど、地域住民が一体となって朝倉氏遺跡に関する理解を深め、愛着を育てるための取組みを継続して行っています。さらに、年間を通し、朝倉氏のシンボル唐門のライトアップ、春には糸桜開花時のライトアップ、夏には1万本以上のキャンドルが彩る万灯夜、秋には彼岸花まつりを開催し、幻想的な空間づくりを行っています。</p> <p>今後は、かつて戦国時代に咲いていたと考えられる草花を使って史跡内を彩る「花いっぱい運動」の実施など、魅力ある景観づくりを一層推進していきます。</p>
鯖江おかみさん会	鯖江市本町ほか	71名	<p>鯖江地区商店街のおかみさんを中心に組織し、環境美化活動やつつじまつり、もみじまつり、誠市、ご縁市などのイベントでのおもてなし活動を実践しています。</p> <p>今後は、門前の景観づくりを学ぶ勉強会の開催、本山誠照寺周辺での花植えや七夕等の飾り付けにより、門前町らしい風情が感じられる景観づくりを行っていきます。</p>
博物館通り景観形成協議会	敦賀市相生町ほか	46人	<p>「近代建築と木造和風建築が共存するまちなみを守り育む」ことをまちづくりの目標とし、「暮らしと賑わいが調和するまちの演出」「山車の似合うまちの演出」をまちづくりの方針とし、建築物や工作物等の形態・意匠の基準を定めるなどの景観形成を行っています。</p> <p>景観づくりの活動として、各戸の軒先での一輪挿しや花プランター、かざり雛等を設置することによる連続性のある町並みの演出を行っていきます。</p>
宝永まちづくり委員会	福井市宝永地区	1774世帯（宝永地区）	<p>宝永地区は、古くから商業・住宅地として発展してきた地区で、松平家別邸 養浩館を中心に歴史的史跡があり、数多くの偉人を輩出してきた地区です。</p> <p>宝永まちづくり委員会は、養浩館・郷土歴史博物館を会場に地区住民が集う夏祭りとなる「お泉水フェスタ」や、地区住民が手作りのあんどん等を設置して夜の養浩館庭園を美しく演出する「養浩館庭園ライトアップ」などを実施し、宝永の豊かな街づくりに対する地区住民の意識醸成を図る活動を継続的に取り組んでいます。今後、ライトアップは地区住民の協力を得ながら、行灯等の設置範囲を拡大し、庭園に至る通りをさらに魅力的に演出していきます。</p>
三国サンセットビーチ振興会	坂井市三国町米ヶ脇ほか	37人	<p>三国サンセットビーチは、透明度の高い海水浴場で知られるとともに、日本海の絶景が望める景勝地です。</p> <p>サンセットビーチ振興会は、ビーチの誘客宣伝活動やライフセーバー等の水難救助活動、ビーチの清掃活動に取り組んでいます。今後、地域の人々の美化に対する意識を高めるため、エコキャンドルによる夜景づくりや海ごみの専門家を招いての講演会、海ごみでつくる行灯のクラフト教室を開催していきます。また、夕日百選にも選ばれた、ビーチの壮大なサンセットをゆっくりと鑑賞できるよう、休憩スポットを設置し、魅力ある景観づくりを一層推進していきます。</p>
越知山泰澄塾	越前町小川ほか	39人	<p>越知山は泰澄大師が開山した越前五山のひとつで、山頂からは遠く白山連峰まで眺望できる風光明媚な名所です。</p> <p>この越知山を中心に活動するグループ「越知山泰澄塾」は、平成元年に設立し、これまで天王川美化活動や越知山ウォーク、泰澄の道里山ウォークなどのイベント開催のほか、泰澄大師にちなんだ書籍の発行などを行っています。今後は、引き続きこれらのイベントを通じ、越知山の知名度向上を図るとともに、新たな登山ルートの設置により、越知山の眺望づくりを図っていきます。</p>

平成25年度認定（1／2）

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
平家平を愛する会	大野市巢原 (平家平)	約40名	<p>「平家平」は大野市の南部、姥ヶ岳（うばがたけ）北西の山腹にある緩斜面で、ブナ林を中心に植生が広がっています。昔、平家の落人がこの地に移り住んでいたと言われることから、「平家平」の名で呼ばれるようになったと伝えられ、近くには平家窟（へいけくつ）と呼ばれる洞窟もあります。</p> <p>当団体は、平家平において、貴重な自然と関わり楽しみながら保全していくため、平成17年に結成されました。これまで、自然観察会やブナの森コンサートを開催するほか、観察道の草刈りやブナの植栽活動を行っています。こういった自然観察や作業体験等を通じて、一般県民に平家平の自然を広く紹介しています。</p>
越前おおの・九頭竜花桃回廊実行委員会	大野市角野ほか	13名	<p>大野市和泉地区は、福井県の東端に位置し、その中央を岐阜県境に源を発する九頭竜川が東西に貫流しています。九頭竜川を堰き止めたダムでできた九頭竜湖は、春の桜、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季折々の美しさを見せています。</p> <p>当団体は、和泉地域の活性化と観光拠点づくりを目的として、平成21年11月に発足しました。平成22年から3年にわたって、九頭竜国民休養地や道の駅「九頭竜」周辺、前坂地区などにおいて、約1500本の花桃を植樹しています。また、花桃を管理する地元ボランティア組織を立ち上げ、草刈り等の管理を通じて、和泉地区を知ってもらい、愛着を持ってもらう活動を継続しています。</p>
北府駅を愛する会	越前市北府3丁目ほか	約100名	<p>越前市中心部にある福井鉄道福武線の北府駅は、大正13年に建てられた木造駅舎で、国の登録文化財になっています。北府駅周辺には同じく大正時代に建てられた車庫（車両工場）も残っており、鉄道施設の歴史を物語る貴重な建造物となっています。</p> <p>「北府駅を愛する会」は、平成22年に、駅名が現在の「北府駅」に改名した半年後に、駅周辺の住民有志によって設立されました。駅周辺の清掃や花植え、仁愛大学と連携したイベントを開催するほか、北府駅を当時利用していた俵万智さんにちなんだ俳句、短歌等を広く募集することにより、より多くの人に駅舎や電車に親しんでもらえるような活動を行っています。</p>
味真野観光協会	越前市池泉町ほか	137名	<p>活動地域である味真野地区は、万葉集にも詠われた歴史情緒あふれる地区です。万葉の里 味真野苑には、万葉集に収められた情熱的な恋の歌の碑があります。また、5月に苑周辺で開かれる「あじまの万葉まつり」では、万葉時代の時代絵巻が再現されます。</p> <p>昭和54年に設立された当団体は、このまつりのほか、地区で受け継がれてきたお茶の文化体験イベント、彼岸花植栽、ポタン園整備などを行っています。今後、地区のランドマークとなっている、味真野小学校の桜のライトアップを実施するとともに、桜の幹のカビ取りや土壌改良など、桜の木を維持し、次世代に引き継いでいきます。</p>
永平寺門前観光協会	永平寺町志比	46名	<p>永平寺門前観光協会は、これまで永平寺川清掃活動、花まつり、冬の灯籠まつり、桜の植樹など、門前への誘客をすすめる取り組みを行っています。</p> <p>今後は、ザゼンソウや広葉樹の植栽などを通して、門前や永平寺川を楽しく回遊できる散策ルートの整備を行っていくほか、永平寺全景を眺望できる愛宕山山頂のビューポイントや山頂に至る散策道の整備なども進めていきます。</p>
高浜まちづくりネットワーク	高浜町宮崎ほか	17名	<p>高浜地区には、多くの人の往来があった旧丹後街道沿いの歴史ある町並みや高浜漁港を含む漁村風景、さらに城山公園、旧高浜町観光協会の建物をはじめとした歴史・文化等が豊かにあります。</p> <p>当団体は、住民と活動団体をつなぐネットワークの拠点として、各団体の運営や支援を行うため、平成17年に設立されました。高浜の良いところを町内外の人たちに伝えていくため、ミニツアーや高浜小唄を伝える講習会の開催などを行っています。今後は百景を中心に高浜町内の風景を紹介するホームページの作成や、百景を素材とした景観まち歩きの実践など、高浜らしい雰囲気のある「訪れたい町」を目指して、各種景観づくり活動を進めていきます。</p>

平成25年度認定（2／2）

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
NPO青の里地球まるごと会議	高浜町西三松 ほか	約20名	<p>当団体は、青葉山のふもとにある青郷・内浦地区の地域振興を目的に活動している団体です。古来、青葉山麓一帯は「青の里」と呼ばれていました。当団体は、環境保全や自然体験活動の運営などを通して、人と自然、人と人とのつながりを取り戻し、持続可能な地域づくりを進めています。これまで、青葉山登山道の整備・清掃、自然体験教室「青の里自然学校」などを実施しているほか、青葉山麓において、花畑を再生するなど、景観向上の取組みを積極的に行っています。</p>
名田庄星のフィエスタ実行委員会	おおい町名田庄納田終（のたおい）	30名	<p>小浜市の南、京都府と滋賀県に接する、おおい町名田庄地区は、若狭と京都を結ぶルートのひとつである周山街道（鯖街道）があり、かつては、魚介類などがこの道を通り運ばれていました。また、地域のほとんどが山林地帯で手つかずの豊かな自然に恵まれた日本の原風景が今なお残る地域です。星空が美しく、陰陽師の安倍晴明ら安倍家の子孫である土御門家が京都からこの地に移り住み、陰陽道の流れを受け継いだことで知られています。</p> <p>当団体は8月に星をテーマにしたイベント「名田庄星のフィエスタ」を開催しており、山にくっきり浮かぶ星文字ライト、コンサート、土御門河臨祭など様々な催しが行われ、フィナーレには花火が夜空を彩ります。今後、冬期間の魅力ある夜景を創出するため、名田庄小倉地域の広場において、イルミネーションによる星空を再現していきます。</p>

平成26年度認定（1／2）

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
小原ECOプロジェクト	勝山市北谷町 小原	約50名	小原地域は、勝山市東部の石川県境に接した山間域にあり、標高500mの高所に位置する集落で、斜面を切り開いた狭い敷地に段々状に佇む家屋が見られます。 当団体は、小原集落を含む小原地域一帯の歴史・文化・生活を未来への財産として後世に伝えるため、平成18年に結成されました。これまで、地域資源を活用したエコツアーを開催するほか、伝統的古民家の修復活動や、ミチノクフクジュソウ等の希少種の保全活動、耕作放棄地の再生活動を行っています。このような活動を通じて、地域の活性化、集落景観の保全に取り組んでいます。
ラピュタの会	大野市犬山ほ か	約90名	古くから、越前・美濃両国を結ぶ交通の要衝であった大野は、荘園や城下町として発展しました。織田信長の家臣だった金森長近が、越前大野城を築き、城下町を整備して400年余り、今もその街並みが残っています。 当団体は、朝霧に覆われた大野盆地の中心に越前大野城が浮かぶ美しい風景をPRしようと平成26年4月に設立されました。これまで、ホームページで全国や世界に向け「天空の城」を発信したり、ビューポイントの整備や撮影場所までの登山道の整備を行ってきました。今後、新たな撮影場所となるビューポイントの調査や案内看板の設置、来訪者への案内チラシ等を作成し、多くの人に「天空の城 越前大野城」の魅力発信に取り組んでいきます。
荒島愛山会	大野市荒島岳	約50名	大野盆地の南東にそびえる「荒島岳（標高1523.5m）」は、福井県で唯一日本百名山に選ばれた名峰です。泰澄大師によって開かれたと言われ、古くから信仰の山として崇められてきました。新緑や紅葉の頃の自然景観は非常に美しいものです。 当団体は、平成15年に結成され、これまで荒島山開きや登山道整備を行ってきました。安全で快適な登山道の整備、登山者からの自然保護を目的に「小枝のダム計画」と称した整備活動を継続しています。近年では、昔の池が再生され、モリアオガエルの産卵やオタマジャクシの姿も見られ、これまでの活動の効果も表れています。今後は、より安全に登山ができるよう景観に配慮した統一した案内標識の整備を進めていきます。
ふくい笏谷石の会	福井市足羽山 周辺ほか	16名	足羽山で産出される笏谷石は、古代から人々に利用されてきた長い歴史を持ち、北前船等によって各地に広がった壮大な文化遺産です。 当団体は、笏谷石文化に愛着と誇りを持ち、次の世代に伝えていくとともに、福井の地域ブランドとしてまちづくりに活用することを目的に、平成22年に結成されました。笏谷石に関する情報を収集し、県内に点在する笏谷石が彩る風景を「笏谷石ふくい百景」としてまとめ、ホームページやブログによる情報発信を行っています。また、広く市民を対象とした公開講座やパネル・写真展などを実施して、普及啓発活動に取り組んでいます。
東郷ふるさとおこし協議会	福井市東郷 二ヶ町ほか	約80名	東郷地区は、清流足羽川の扇状地に位置し、福井城下と一乗谷を結ぶ街道に沿って発達し、中心部は、朝倉時代より横山城廃城まで城下町として発展しました。 当団体は、平成3年に結成され、当時の面影を残す堂田川や周辺の町並み、地域の自然を活かしながら、せせらぎコンサートや堂田川のライトアップ、おつくね祭等、「東郷らしさ」のある個性豊かな景観づくり活動を行っています。また、堂田川をはじめ、伝統的古民家や歴史ある寺社など、多くの景観資源を活かしたまち歩きも行っており、東郷の魅力発信にも取り組んでいます。
上岬地区をよくする会	越前町梨ヶ平 ほか	31名	越前町の上岬地区（玉川、血ヶ平、左右、梨ヶ平）は、越前加賀海岸国定公園内に位置し、越前岬や越前岬灯台をはじめ、鳥糞岩、呼鳥門、越前水仙、玉川観音、玉川温泉等の観光名所が豊富であり、越前海岸は、「日本の渚百選」「日本の夕日百選」に、梨ヶ平の千枚田は、「棚田百選」に選ばれ、多くの観光客が訪れています。 当団体は、地区の自然や歴史、風土など魅力あふれる地域資源を活用したまちづくり活動に取り組むため、平成26年に結成されました。これまでの、地区に点在する景勝地に繋がる遊歩道の草刈りや清掃活動を行ってきました。今後は、越前焼きの陶器の灯りによる景勝地のライトアップや地域の自然や歴史等を説明できるボランティアガイドを育成する勉強会を進めていきます。

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
神山地区自治振興会	越前市広瀬町ほか	63名	<p>馬借街道は、敦賀から海路で河野浦に渡り、そこから陸路で府中（越前市）に物資を運んだ古道です。朝倉氏の時代に、馬が通れるよう道幅9尺に拡幅され、街道となり、江戸時代から明治の初期まで、河野から府中（越前市）まで馬の力を利用して馬借人が物資を運んでいました。</p> <p>当団体は、馬借街道の歴史や自然を楽しんでもらうため、街道の道直しや草刈り等の環境整備を実施し、毎年5月3日には、街道を散策するウォーキングイベントを開催しています。また、馬借街道の道中にある大坂山山頂に展望所を設置し、眺望景観づくりにも取り組んでいます。今後は、馬借街道の歴史や史跡を紹介した小冊子を作成し、それを活用して、馬借街道の歴史や史跡等を説明できるボランティアガイドを育成する勉強会を進めていきます。</p>
敦賀市疋田（ひきだ）地区	敦賀市疋田（ひきだ）	約50名	<p>敦賀市疋田地区は、江戸時代から宿場町として栄えており、疋田舟川は、敦賀港から京都へ物資を輸送するために設けられた運河（舟川）の遺構で、かつては米や海産物等の物資を積載した川舟が往来していました。今でも、街道集落の面影が残り、歴史、自然と調和した風情漂う町並みとなっています。</p> <p>当団体は、疋田の風情ある町並みを保全するため、舟川沿いの除草や川の清掃活動を行っています。今後は、舟川沿いで、風情漂う舟川の雰囲気合う花の植栽や植樹等を行い、舟川を活かした魅力ある景観づくりを進めていきます。</p>
早瀬景観保全活動協議会	美浜町早瀬	475名	<p>早瀬地区は、若狭湾と三方五湖（久々子湖）に囲まれた自然豊かな地区で、漁業のほか北前船の寄港地として栄えた港町です。また、150年以上も前から行われている子供歌舞伎をはじめとする祭事、神事等が数多く残されており、伝統行事息づく地区でもあります。</p> <p>当団体は、平成26年4月に公開された映画「サクラサク」が早瀬を舞台とした映画であったことから、早瀬の景観保全活動や観光誘客を推進するために結成されました。映画の舞台の中心であった瑞林寺「一本桜の丘」は、早瀬の漁村集落を一望できる高台に位置しており、「一本桜の丘」のビューポイント整備や一本桜のライトアップ、植樹活動等の景観づくりを進めていきます。</p>
竹竹クラブ	高浜町内浦地区	12名	<p>内浦地区は、福井県の最西端に位置し、南には「若狭富士」と呼ばれる青葉山がそびえ立つ山間部、東には内浦湾が望める、海と山の風光明媚な地域です。内浦地区の竹は良質で、昭和中期頃まで竹や炭の販売が盛んでしたが、生活環境の変化等から竹林は長い間放置され、獣害等の問題が出てきました。</p> <p>当団体は、平成20年の設立以来、内浦地区を中心とした放置竹林の整備を実施し、約4haの竹林整備を行ってきました。また、伐採した竹をチップ化したり、肥料化して再生利用を図ったり、竹細工教室の開催等で竹に関する普及啓蒙活動も行っています。今後は、計画的な竹林整備を引き続き行い、伐採した竹を活用した内浦地区の景観の向上、絶景ポイントの整備を進めていきます。</p>

平成27年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
松岡上吉野地区	永平寺町松岡上吉野地区	約40名	吉野ヶ岳は、泰澄大師が開山したと伝えられる越前五山の一つで、山頂には蔵王大権現十一面観音とともに祀られており、隠れた名山として登山愛好家に親しまれています。 地区では、たくさんの方に登山を楽しんでもらえるよう登山道の草刈りや階段整備、山頂展望台の整備を行っています。今後は、さらに雑木を伐採し、山頂から白山を眺望できるビューポイント整備を行っていきます。
清明まちづくり協議会	福井市杉谷町ほか	約20名	文殊山が眺められる福井市清明地区には、伝統的民家や土蔵が数多く残っています。その背景には、地区の里山である城山が控えており、懐かしいふるさと景観となっています。 清明まちづくり委員会では、この城山の登山道整備や、子供達の学びの場「冒険の森」の整備を行っています。今後は、城山の竹林を伐採し、広葉樹の植樹や間伐の整備を行って、ふるさと景観の保全と活用を図っていきます。
みそみ地域づくり協議会	若狭町三十三地区	13名（役員）	三十三地区は、京都の三十三間堂が創建された際、その棟木を切り出したという謂われのある三十三間山のすそ野に広がる地区です。この地区には、戦国時代、熊谷氏の居城であった大倉見城址があり、三方五湖や遠くは若狭湾まで見渡せます。 みそみ地域づくり協議会では、城址展望台へ繋がる登山道の整備や頂上広場の整備を行っています。今後は、雑木を伐採し、山頂から三方五湖が一望できるビューポイント整備を行っていきます。
世久見地区	若狭町世久見地区	約30名	常神半島に囲まれた世久見湾は、海水の透明度も高く、海水浴場としても人気の一帯で、夕日の絶景スポットでもあります。 世久見地区では、世久見湾の海岸や遊歩道の清掃、浜沿いの花植えや桜・紅葉の植樹、桜のライトアップ等を行っています。今後は、世久見湾に落ちる夕日の絶景スポットを観光に活用できるよう新たなビューポイント整備と県内外への情報発信を行っていきます。
ふくいへリテージ協議会	福井県全域（広域団体）	44名	福井県には、数多くの歴史や文化が残っています。 ふくいへリテージ協議会では、景観資源の大きな要素となる歴史的建造物等の発掘活動やその調査を行い、技術者のスキルアップを図る研修会を実施しています。また、県内の歴史的建造物等の保存、改修、活用に関する研修会を実施し、今後さらに県民向けに広く情報発信を行っていきます。
福井県山岳連盟	福井県全域（広域団体）	659名	福井県には、豊かな自然や歴史のある山が数多くあります。 福井県山岳連盟では、近年、中高年登山者が増加している中、安全に登山を楽しんでもらえるよう登山道の草刈り、清掃、階段の整備等、自然環境保全活動を行っています。また、四季を通じた山野草等の自然観察会も開催しており、今後さらに、百景に選定された山々を中心とした県内の山の魅力発信等、景観保全意識の普及啓発活動を行っていきます。

平成28年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
細呂木地区創成会	あわら市細呂木地区	39名	あわら市細呂木地区には、旧北陸道をはじめ、南北朝時代に築かれた川口城址、たたら製鉄遺跡、石切り場跡など歴史遺産が数多く残っています。 細呂木地区創成会では、それら歴史遺産を保全するとともに、それらを活用した観光ルートを開発・整備することによって、細呂木地区の魅力を広く発信します。
城のまちまちづくり協議会	坂井市平章地区	108名	丸岡城は、かつて外堀だった田島川とともに城のまち地区のシンボルであり、田島川の清掃活動や一般市民、小学生を対象とした歴史学習会などを行っています。 今後は、丸岡城周辺の景観整備や歴史遺産の保全活用を通じて、丸岡城の国宝化を目指し、丸岡城を中心としたさらなる地区の魅力アップを図ります。
ふくい桜守の会	福井市左内町ほか	約80名	福井市中心部を流れる足羽川の桜並木は、明治時代の住民による植樹が始まりで、戦災、震災、福井豪雨からの復旧と、時代を越えて植樹が行われ、守られてきました。 ふくい桜守の会では、現存する桜の病害虫対策や養生作業等の保全活動を行うとともに、古木の世代交代を進めるため、新たな植樹活動や桜の保全啓発を図る研修会等を開催し、次世代へ継承していきます。
日野川流域交流会	越前市錦町、堀川町ほか	45名	越前市の日野川中流域は、蛇行を繰り返しながら瀬や淵、そして砂礫河原を形成し、加えて日野山を背景とした日野川の景観は、越前市を代表するふるさと景観となっています。 日野川流域交流会では、水際環境や砂礫河原の保全再生を目指し、河道内の雑木撤去等に取り組んでいます。さらに地域コミュニティの場としての活用、子供たちを対象とした川に学ぶ体験活動等を通して、清流日野川の魅力を広く発信し、次世代へ継承していきます。
南越前町大桐地区	南越前町大桐地区	26名	旧北陸本線敦賀・今庄間には、福井の発展を支えた数多くの鉄道遺産があります。現在、大桐駅跡には、上りホームの一部が残存し、軌道跡は一般県道今庄杉津線として住民の生活道路となっています。 大桐地区では、地区のシンボルである大桐駅跡を中心とした鉄道遺産を保全活用するとともに、軌道跡周辺に季節の花の植栽や景観作物を整備することによって、地区の魅力アップと活性化を図ります。
若狭町天徳寺地区	若狭町天徳寺地区	259名	天徳寺の境内奥にある瓜割の滝は、名水百選にも選ばれており、若狭瓜割名水公園は訪れる人々の憩いの場となっています。 天徳寺地区では、瓜割の滝をはじめ若狭瓜割名水公園の草刈りや樹木の剪定、あじさいの植栽整備等の景観保全活動を行うとともに、瓜割の滝周辺の修景整備や子供たちの環境学習活動を推進し、地区の宝である瓜割の滝を次世代へ継承していきます。

平成29年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
木曜お堀の会	福井市大手3丁目、中央1丁目など	20名	<p>福井城は、1600年に越前入りした初代福井藩主結城秀康公が築き、今も笏谷石の石垣や水を湛える内堀、天守台が残っており、「御廊下橋」や「山里口御門」の復元や、中央公園の整備などが進められています。</p> <p>木曜お堀の会では、「福井城址お堀の灯り」の開催や福井城址周辺等の清掃活動とともに、福井城址の歴史的景観を活かしたライトアップや子供たちを対象とした歴史講座、朗読会等を開催し、この宝を次世代へ継承します。</p>
一般社団法人ジャパン伝統産業文化コミッティー	越前町小曾原ほか	5名	<p>日本六古窯の一つである越前焼は、平安末期に生まれ、越前陶芸村の周辺約1～2kmの範囲の山中には古代～近世にかけての窯跡が数多く存在しています。</p> <p>(一社)ジャパン伝統産業文化コミッティーでは、数多い窯跡が眠る里山で、藪の切り開きや遊歩道を整備して往時の里山を再生しています。また越前古窯博物館を核とした越前古窯群等の文化資源の磨き上げを図り、それらをつないだトレッキングコースの設定や、テーマ性のある体験型ツーリズム等を構築することによって、国内外の観光客に越前焼の魅力を広く発信し、交流人口の拡大を図ります。</p>
特定非営利活動法人 今庄旅籠塾	南越前町今庄	18名	<p>今庄宿は、古来より北陸道の要衝であり、江戸時代を通して越前で最も繁栄した宿場町の一つとして、現在も古い造り酒屋や旅籠跡をはじめとして、江戸期から昭和初期の家屋が軒を連ねており、往時の面影を色濃く残しています。</p> <p>NPO法人今庄旅籠塾では、歴史的町並みの景観を保全するとともに、その歴史、文化を次世代へ継承していくため、今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指し、住民主体の自立したまちづくりによる今庄宿の活性化とさらなる魅力アップを図っていきます。</p>
若狭町三生野地区	若狭町三生野地区	124名	<p>三生野地区は、広がる田園と背後にそびえ立つ鏡山に囲まれたのどかな地区です。地区のシンボルである鏡山は、若狭町の中心に位置し、標高450mほどの山頂からは、三方五湖をはじめ若狭湾や青葉山、天候に恵まれれば白山まで遠望でき、素晴らしい眺望景観が楽しめます。</p> <p>三生野地区では、トレイルラン等で活用できるよう、登山道の整備や頂上広場の整備を行っています。今後は、雑木を伐採し、山頂から三方五湖が一望できるビューポイント整備を行っています。</p>
一般社団法人 福井県造園協会	広域団体(福井県全域)	38社	<p>(一社)福井県造園協会では、県土の緑化推進と保全を目的として、緑化に関する知識習得のための講演会や造園施工管理の技術力向上のための研修会などを開催しています。</p> <p>今後さらに、緑化による景観まちづくりに寄与する実践的な講座の開催や、地域との協働による植栽整備等を行うことにより、緑化による景観向上の意識醸成を図っていきます。</p>

平成30年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
竹田の里づくり協議会	坂井市丸岡町竹田地区	64人	竹田の里づくり協議会は、坂井市丸岡町竹田地区でたけくらべ広場での「しだれ桜まつり」の開催のほか、100本のしだれ桜の維持管理や、桜のライトアップ、コスモスが咲く街道整備などの景観づくりを行っています。また、桜のシーズン外には、国道沿いの大型二連水車「竹田メロディーパーク」をライトアップし、山里の夜の風景を演出します。
東古市新風会	永平寺町東古市	約35人	東古市新風会は、永平寺口駅周辺の景観づくりの一環として、登録有形文化財である旧駅舎とレンガ館を中心に毎年12月～1月にかけてイルミネーションを行っており、今後範囲を拡大し、鉄道の車窓から楽しめる夜景を演出するなど、駅舎周辺の魅力発信を行っていきます。
中野清水を守る会	大野市中野町	38人	中野清水を守る会は、大野市にある中野清水を復元し、後世に残していくために結成され、湧水地の保全と絶滅危惧種の貴重な淡水魚「イトヨ」の保護、環境学習にも取り組んでいます。活動等を様々な媒体を通じ広く周知し、アクセス向上を図り、湧水の清らかさと環境保全の大切さを多くの人に感じてもらえるよう努めてまいります。
まちづくり宮ノ下地区委員会	福井市宮ノ下地区	33人	コスモス広苑の素晴らしい景観は、毎年6月の種蒔きをはじめ、草取りや水やりなど、住民の団結力によって生み出されますが、そうした活動の中心となるのが、まちづくり宮ノ下地区委員会です。今後は、車いすで来場した方が楽しめるようにスロープを設置したり、会場への案内看板を整備したりすることで、より親しみやすいコスモス広苑を実現していきます。

令和元年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
花谷 城山会	永平寺町花谷	約60人	城山は、昔から「じょやま」と呼ばれ、地元で親しまれており、県指定史跡・波多野城跡としても知られる歴史ある山です。さらに、城山は九頭竜川から霊峰白山のパノラマ風景が楽しめる絶好の場所に位置しています。現在、白山を望む東側は雑木等で覆われているため、当会では、雑木等の伐採や眺めの良い場所への休憩用ベンチなどビュースポットの充実を図り、多くの登山者に魅力を発信していきます。
NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会	福井市春山1丁目、中央1丁目など	55人	当会では、1駅からのまちづくり事業、2公共交通の活性化事業、3LRT推進事業、4交通まちづくり交流事業の活動を通じて、人優先の交通とまちづくりを実践してきました。今後は、路面電車が走る街の優れたビュースポットの募集や選定、現地説明看板や景観マップの作成など、スマートな移動のトータルデザインを実施していきます。また、これらを活用した街歩きや撮影会などのイベントを実践し、地域の街角景観を大切にす意識向上と路面電車沿線の景観保全を図っていきます。
(一社) 熊川プロジェクト	若狭町熊川	6人	当会は、熊川宿の町並みの保全と活用を目指し、地域の人々や来訪者に対して、地域の持つ豊かさや価値を伝え、未来の子ども達のために地域を活性化する活動を行っています。今後は、熊川宿の町並みを一望できる西山稲荷をビュースポットとして活用するため、倒竹や土砂崩れにより通行が難しい状態になっている道を整備し、ビュースポットの情報発信や歩くイベントの開催などにより、多くの方を現地に誘導し、熊川宿の魅力を満喫していただきます。

令和2年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
ノカテ	福井市下岬地区	5人	越前海岸は日本水仙の三大群生地の一つとして知られ、特に福井市下岬地区は、その発祥の地と言われています。この地で栽培される水仙は「越前水仙」のブランド名で出荷され、福井の冬の風物詩の一つです。当会は、地域に根付く昔ながらの生業や文化と当会の若い力を掛け合わせて、新しい「景観」を地域の中に作りたいと考えています。まずは、水仙栽培を体験するイベントを開催したり、SNSで情報発信したりすることで、越前水仙・越前海岸を知ってもらおうきっかけづくりから始めていきます。
あわら市フラワーサポート協議会	あわら市温泉など	約40人	当会は、JR芦原温泉駅やえちぜん鉄道あわら湯のまち駅周辺で、花の植え替えや園芸教室を開催し、花が持つ華やかさといやしを地域の潤いと賑わいに生かすため、「花のあるまちづくり」を推進しています。今後は、あわら温泉湯のまち広場内にある「風の庭」を整備したり、あわら湯のまち駅前の花壇を整備したりして、花の力で県内屈指の観光地であるあわら温泉の魅力をアップしていきます。また、あわら市内の花の名所を紹介するマップを作成することで、まち全体を盛り上げていきます。
フルーツラインキーパーズ	あわら市柿原など	20人	当会は、あわら市観光の北の玄関口となる「フルーツライン」の景観保全を目的に活動しています。道路の草刈りなど日々の清掃から、花壇の造成や花木の植樹など景観美化に関することまで幅広い取り組みを実施しています。今後は、「フルーツライン」周辺にあるビュースポットや川口城跡・神宮寺城跡などに代表される史跡観光スポットの案内を進めていきます。あわら市の新たな観光スポットの発掘・発信に努め、「フルーツライン」周辺地域の活性化を図ります。
やまぼうしの会	高浜町和田	30人	当会は、ビーチの国際環境認証「BLUE FLAG（ブルーフラッグ）」をアジアで初めて取得した若狭和田ビーチの玄関口であるJR若狭和田駅周辺の花壇整備を通じて地区の景観向上を行っているだけでなく、伝統的民家が多く残るまちなみを活かした「和田de路地祭」などのイベント運営も行っています。今後も、JR若狭和田駅や和田公民館の花の手入れや、イベント運営、エコバック作りの講習会等を行っていきほか、清掃活動の範囲を広げたり、景観づくりの勉強会を開催したりして、和田地区のまちづくり活動を盛り上げていきます。

令和3年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
ナナセカイ	福井市田ノ谷町	7人	当会は、福井藩松平家菩提所・臨濟宗妙心寺派 萬松山 大安禅寺を中心に、その周辺地域（深谷・本郷・大安寺・宮ノ下・川西など）を拠点として、大安禅寺の広域な門前町づくりプロジェクトを柱に活動しています。日本遺産の構成文化財にもなっている、福井が誇る重要文化財大安禅寺の歴史的価値や、その地域の歴史・文化を広く知ってもらうために、地域の特色を生かしたイベントの実施や地域特産品の開発、また、大安禅寺境内（千畳敷・参道）など歴史的景観保存のための美化運動、清掃活動を行い、歴史を通して福井の魅力を発信していきます。
新幹線開業に向けて越美北線を考える会	福井市枳泉町	8人	奈良時代に荘園として発達し、米どころとしても知られ、宿場町や繊維産業地域としても栄えた東郷地区は、町の中心を東西に堂田川が流れ、その北側に平行するように越美北線が走っています。当会は、沿線の植栽や駅舎の利活用を行うなど、車窓からの景観向上や、越美北線が溶け込む景観づくりを図る活動を行うとともに、越美北線への愛着を持ってもらうよう、生活路線だけでなく観光路線として利用促進を図り、地域の発展と環境の向上を進めて魅力を発信していきます。
三床山を愛する会	鯖江市和田町	22人	鯖江市と越前町に跨る三床山は、標高約280mの山で、越前町岩開地区の白壁民家群、日野川や日野山、文殊山や白山まで幅広い景観を見渡すことができ、山頂部には1000年以上前に在った佐々牟志神社、南北朝時代の御床山城跡が残っており、市や町の指定文化財にも指定されています。平成28年には6つの登山コースが整備され、どれも1時間程度で登れることから、歩きやすく優しい里山として子供から年配の方まで人気があります。当会では、山開きや古里のろしのイベント、ガイドマップの作成や登山道の整備を行っております。今後は登り口への案内看板や総合案内板を増設し、さらなる魅力発信に努めていきます。

令和4年度認定

団体名称	活動地域	構成人数	地域の概要・団体の活動内容
エコ・グリーンツーリズム 水の里しらやま	越前市白山地区	51人	<p>白山地区では、昭和46年にくちばしが折れ衰弱したコウノトリを地元の小学生たちが保護したことをきっかけに、里地里山の保全と生物多様性の保全再生に向けた取り組みを行い、コウノトリが舞う里づくりを推進しています。</p> <p>白山地区を一望できる若須岳の散策道・登山道の整備による景観保全や、コウノトリが舞う里しらやまを満喫するウォーキングイベントや農泊を実施することで地域の魅力を発信し、白山地区内の美しい自然や伝統産業、農林業などをおとした地域の活性化を図ります。</p>
大塩八幡宮保存会	越前市国兼町	28人	<p>大塩八幡宮は1,100年の歴史を誇る八幡宮で、国の重要文化財に指定されている拝殿は木曾義仲に由来するといわれています。その拝殿を奥に進むと大塩山城址へと続く遊歩道が整備されており、さらに展望広場からは日野山を一望することができます。</p> <p>地域の歴史文化や伝統芸能を次世代へ引き継いでいくことを目的として、大塩八幡宮の清掃やPR活動、大塩山城址への遊歩道の清掃・枝打ちの整備活動、地域の小学生の歴史学習や県外観光客へのガイド活動をとおして、大塩八幡宮および大塩山からの展望の魅力を発信していきます。</p>
南越前町 糠地区	南越前町糠地区	169世帯 (糠地区)	<p>越前海岸は日本水仙の三大群生地の一つとして知られ、その景観は、越前海岸の豊かな歴史・風土に根ざした人々の暮らしと密接に結びつきながら築き上げられてきました。令和3年3月26日、南越前町糠を対象区域とした「越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観」が、県内初となる国の重要文化的景観に選定されました。また、これは花の栽培地の文化的景観としても全国初の選定となります。</p> <p>糠地区は、行政と連携・協力した意識啓発や美化活動のほか、越前海岸の美しい景観が見渡せる眺望地の保全管理や、眺望地における水仙球根の植栽などにより、地区全体で水仙畑および越前海岸の景観保存・活用に取り組めます。</p>